



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~40週
	第39週	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(46)			(10)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	4543 0.92	16 0.35	22 0.48	▲	3 0.30		▼										13 1.00	22 1.69	▲	12848
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(6)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	7441 2.36	149 4.97	97 3.23	▼	24 4.00	10 1.67	▼	36 5.14	20 2.86	▼		2 0.67	▲	72 12.00	53 8.83	▼	17 2.13	12 1.50	▼	1484
咽頭結膜熱	1147 0.36	15 0.50	6 0.20	▼	5 0.83	1 0.17	▼	5 0.71	1 0.14	▼				5 0.83	4 0.67	▼				519
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4472 1.42	65 2.17	93 3.10	▲	17 2.83	30 5.00	▲	19 2.71	29 4.14	▲	8 2.67	2 0.67	▼	17 2.83	29 4.83	▲	4 0.50	3 0.38	▼	4145
感染性胃腸炎	8643 2.74	52 1.73	89 2.97	▲	14 2.33	26 4.33	▲	14 2.00	16 2.29	▲	1 0.33	6 2.00	▲	17 2.83	22 3.67	▲	6 0.75	19 2.38	▲	6611
水痘	660 0.21	12 0.40	9 0.30	▼	2 0.33	2 0.33		3 0.43	6 0.86	▲	5 1.67		▼	2 0.33	1 0.17	▼				400
手足口病	5748 1.82	67 2.23	41 1.37	▼	3 0.50	5 0.83	▲	13 1.86	3 0.43	▼	10 3.33	2 0.67	▼	19 3.17	13 2.17	▼	22 2.75	18 2.25	▼	5445
伝染性紅斑	1772 0.56	3 0.10	5 0.17	▲	2 0.33		▼	1 0.14	3 0.43	▲		2 0.67	▲							1187
突発性発しん	1105 0.35	10 0.33	13 0.43	▲	1 0.17	1 0.17		1 0.14	2 0.29	▲	2 0.67		▼	4 0.67	7 1.17	▲	2 0.25	3 0.38	▲	611
ヘルパンギーナ	1857 0.59	21 0.70	13 0.43	▼	2 0.33	1 0.17	▼	11 1.57	7 1.00	▼				2 0.33	1 0.17	▼	6 0.75	4 0.50	▼	1266
流行性耳下腺炎	270 0.09	1 0.03	2 0.07	▲	1 0.17		▼		2 0.29	▲										57
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																			0
流行性角結膜炎	506 0.73	7 0.88	6 0.75	▼				2 0.67		▼	2 2.00		▼	3 3.00	6 6.00	▲				108
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5 0.01																			72
クラミジア肺炎	1 0.00																			0
マイコプラズマ肺炎	136 0.28	2 0.20	1 0.10	▼							1 1.00	1 1.00					1 0.33		▼	66
細菌性髄膜炎	8 0.02																			3
無菌性髄膜炎	22 0.05																			8

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
結核	2(山形市1、置賜1)	
腸管出血性大腸菌感染症	4(山形市2、最上1、置賜1)	型別:O157 VT1VT2 1人、O157 VT2 1人、O血清群不明 VT2 1人、O血清群不明 VT型不明 1人。
侵襲性肺炎球菌感染症	1(庄内1)	ワクチン接種歴:不明。
百日咳	6(山形市1、村山5)	※内、第39週追加報告 1人。ワクチン接種歴:4回 5人、不明 1人。

<通信欄>

※トピックスで、インフルエンザについて掲載しています。
※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型22件、B型0件です。集団発生の報告はありません。

※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ			1	1		1	2			1	1	5		2	22
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	3	3	1	1											
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	5	15	42	18	9	3		1		1		3			97
咽頭結膜熱			2	2				1				1			6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	2	5	7	20	10	15	9	11	8	1	1	93
感染性胃腸炎	2	5	15	11	9	5	5	12	8	2	1	14			89
水痘			3					2	4						9
手足口病		7	12	8	5	4		1	2			2			41
伝染性紅斑				1		1	1	1				1			5
突発性発しん	1	3	3	5	1										13
ヘルパンギーナ			3	2	2	3	1			1		1			13
流行性耳下腺炎					1		1								2

< 令和元年8月 月報 >

2019年9月25日 発行

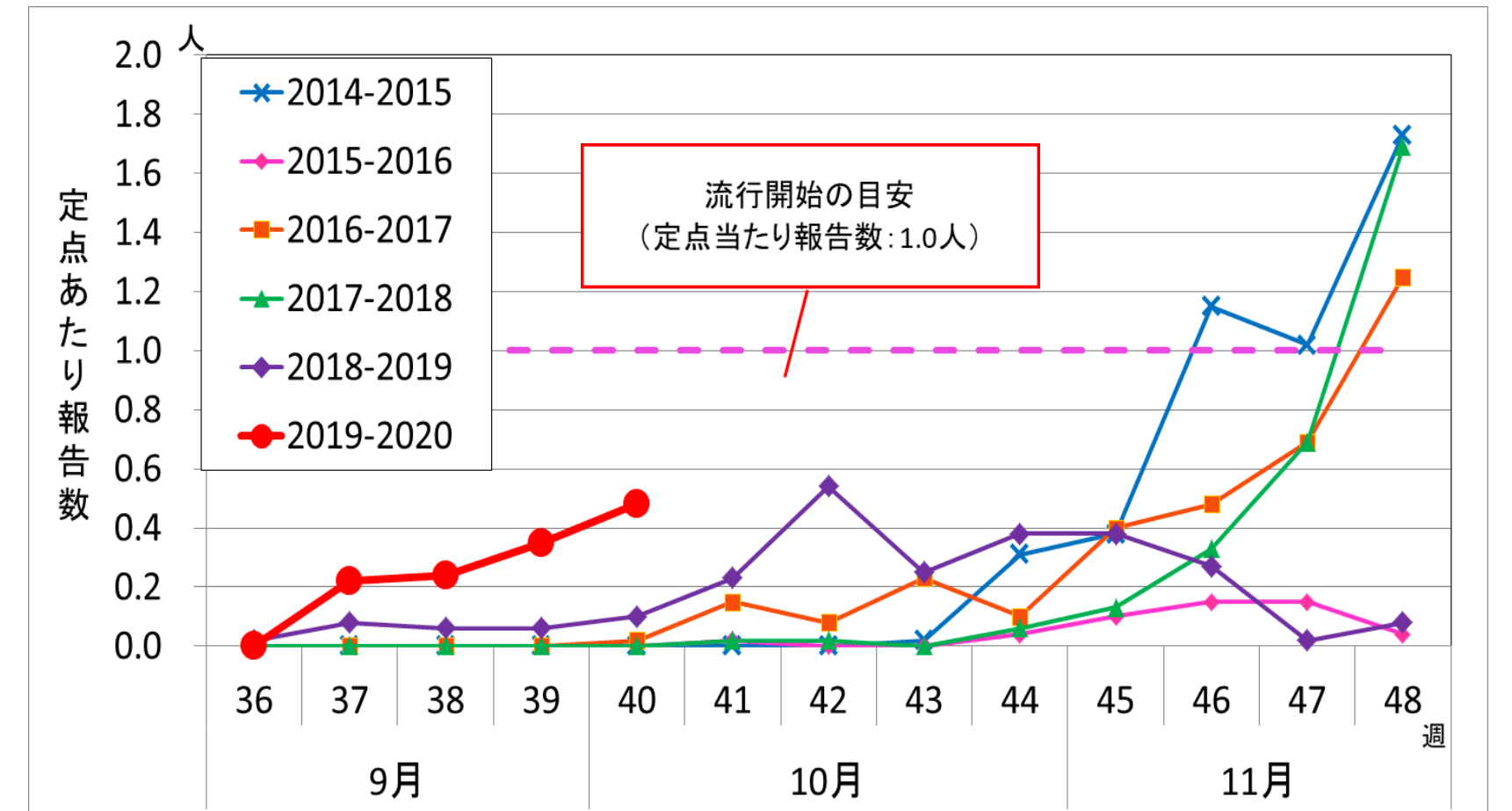
疾患名		山形県		山形市		村山		最上		置賜		庄内		累積(県)
		7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	
STD定点 (定点医療機関数)		(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	10	10	4	4			2	1	2	2	2	3	108
	定点当り	1.00	1.00	1.33	1.33			0.67	1.00	1.00	1.00	0.67	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	1					1		3	1	4		55
	定点当り	0.80	0.10					1.00		1.50	0.50	1.33		
尖圭コンジローマ	報告数	1	2		1	1				1				16
	定点当り	0.10	0.20		0.33	1.00				0.50				
淋菌感染症	報告数	2	2	1		1				1			1	29
	定点当り	0.20	0.20	0.33		1.00				0.50			0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	7					1			1	4	6	42
	定点当り	0.50	0.70					1.00			0.50	1.33	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	20	22	3	2	2	5	2	2	3	2	10	11	160
	定点当り	2.00	2.20	1.50	1.00	1.00	2.50	2.00	2.00	1.50	1.00	3.33	3.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数		1		1									1
	定点当り		0.10		0.50									

< トピックス >

インフルエンザに注意しましょう

インフルエンザの報告数が増加傾向にあります。全国的に、例年より早い流行入りが見られますので、早めの対策を心がけましょう。

・定点あたり報告数の推移(山形県)



< インフルエンザとは >

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こります。風邪よりも症状が重くなることが多く、中には肺炎や脳炎などを併発し、重症化してしまう人もいます。

(表) インフルエンザと風邪の違い

	インフルエンザ	風邪
38度以上の発熱	発熱	発熱
頭痛、関節痛、筋肉痛、喉の痛み、咳、鼻水など	急激に発症	比較的ゆっくり発症

感染経路は、咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染と、ウイルスのついた手で口や鼻を触って粘膜から感染する接触感染があります。

予防として、こまめな手洗いをする、適度な湿度を保つこと、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておくことが重要です。また、咳が出るときはマスクを着用し、ティッシュなどで口と鼻を覆う「咳エチケット」も心がけましょう。

